市民活動助成金報告書

団体名	刀舞連
事業名	関市の踊り普及プロジェクト
事業費	66,070 円
助成金交付額	50,000 円

活動の背景にある課題・活動の目的		関市独自の盆踊りをはじめ、尺舞、浪曲、フラダンスなどを披露し市民の皆様に楽しんで頂く。関伝統の盆踊りに関心を持つ市民を増やす。盆踊りや地域の老人会、ふれあいサロン等で踊りなどを披露するだけではなく、市民の人達へ踊り方を教えながら一緒に踊る。地域住民同志の交流を図るお手伝い高齢者の健康維持のお手伝いもする。
事業概要	活動の対象者	小さいお子様から親世代、お年寄りなど幅広い方々
	活動の場所	各自治体の公民館など
	事業期間	2024年 4月 1日 ～ 2024年 12月 31日
	具体的な活動内容	4/14 星ヶ丘クラブ 星ヶ丘公民センター 27 中いきいきサロン 中公民センター 5/10 社会福祉協議会 桜ヶ丘支部 桜楽会 じぜい寺 6/21 倉知 すずらん 慰門 8/8 上白金 盆踊り講習会 上白金公民センター 8/10 〃 盆踊り大会 8/17 広見盆踊り会 広見公民センター 9/15 上白金敬老会 みの観光ホテル 16 下白金敬老会 下白金公民センター 11/13 倉知 すずらん慰門 11/20 美濃 いろはさくら館 慰門 11/28 関市老人クラブ文化祭 文化会館 12/4 下有知 ハートフル慰門 12/13 社会福祉協議会 桜楽会 じぜい寺
事業の効果及び成果		上白金の盆踊り講習会では小学生、その親世代が多く参加して下さって関音頭など昔から関市の盆踊りを全く知らない人が多く広く普及するお手伝いが出来た 広見の盆踊り会は老人会なので一緒に踊り楽しむことが出来た
今後の取組・改善事項		単に踊りを教えるだけでなく歌詞の内容歴史についてもお伝えすることが出来ると良いと思っています

団体情報	代表者名	廣瀬 博美	所在地	関市富士町1番地
	電話番号	090-9187-8428	Eメール	
	HP			

祝 令和6年度上白金区敬老会

2024/02/14

祝 令和6年度上白金区敬老会

祝 令和6年度上白金区敬老会

市民活動助成金報告書

団体名	孫六座
事業名	関市文化の語り手育成事業
事業費	60,300 円
助成金交付額	50,000 円

活動の背景にある課題・活動の目的		関市の文化を紙芝居にて公演 10年以上活動を続けてきたが、関市の文化を知る人々が高齢化していることにより文化の継承が危ぶまれている 孫六座がこれまで培ってきたノウハウを継承すること 「関市文化を語れる人」を育成する
事業概要	活動の対象者	年齢不問（不特定多数）
	活動の場所	市内様々な公共施設等
	事業期間	令6年 4月 1日 ～ 令7年 3月 31日
	具体的な活動内容	※ 募集チラシ・ポスター制作および掲示 ※ 語り手の募集については特定の日・時を設けず随時募集とする 受け入れれば毎週月曜日練習日とする ※ ハンズフリー拡声器スピーカー10セット等々 ※ のぼり等、ポールスタンド
事業の効果及び成果		関市の文化の語り手の育成をすることにより関市文化を未来へ繋いでいくことができる高齢者の認知症予防子どもたちへの情操教育、関市民の生きがい創出
今後の取組・改善事項		文化はまちづくりの原点、まちがイキイキしている町は文化が豊かであるということ本事業をきっかけに孫六座の継承者を誕生させる

団体情報	代表者名	原 康博	所在地	関市春日町1丁目33番地
	電話番号	090-2924-5502	Eメール	
	HP			

孫六座 座員大募集中!

定年後の生きがいみーつけた!!

未経験OK　**80代以上も活躍中**

活動内容　創作紙芝居の上演

活動場所　関市を中心とした場所
（福祉施設、学校、公民館など）

練習日　毎週月曜日　13:30～15:00
関善光寺にて

対象　人生を楽しみたい方ならどなたでも

問い合せ
孫六座　座長 原 康博
090-2924-5502

このチラシは関市市民活動助成金（ときめき）を利用しています。また、関市市民活動センターのサポートを受け作成しました。

市民活動助成金報告書

団体名	津保川台・虹ヶ丘シニアクラブ

事業名	介護予防と認知症予防教室

事業費	71,640円　（令和7年1月現在）
助成金交付額	50,000円

活動の背景にある課題・活動の目的	ボランテア要員及び指導員の養成。地域の高齢者の年齢と共に低下する記憶力や運動能力の低下などを課題に、毎日元気で楽しい人生を送るため、本教室を通じ楽しく運動・遊ぶ・歌う・話す・考えるなどの能力の低下を防止する。

事業内容	活動の対象者 活動の場所 事業期間 具体的な活動内容	対象　津保川台・虹ヶ丘周辺地域で65歳以上のシニア 場所　津保川台公民センター 期間　令和和6年4月から翌年3月まで（但し1月と8月は除く） 毎月第二金曜日午前11時から12にまで　定員20名位 講師　日本健康レクリエーション学会 理事　岡崎俊郎　他 内容　リクリエーションゲーム等を主体にした脳活運動及び どこでも出来るストレッチ体操。効果の測定など。
事業の効果及び成果		楽しいリクリエーションゲーム等を通じて、思考する・行動を維持する・コミュニケーションを図る・意思を決定する・感情を制御する・記憶をコントロールする・やる気を出す等々の効果を高め、高齢により低下する脳や身体を活性化し、毎日楽しく元気に人生を送ることが出来る。
今後の取組・改善事項		1　ボランティア個々の認知症・要介護に対する認識の向上。 2　高齢者や家族の認知症という病気に対する認識の向上。 3　地域の高齢者間の相互の連携の強化。 4　年を取っても脳活は有効、毎日出来ることを「やってみよう」 ストレッチ体操・趣味の活動・会話・食事・指先運動など。

団体情報	代表者名	小　芝　　勧	所在地	関市津保川台1－1－5
	電話番号	090－4864－5380	Eメール	
	HP			

シニア特報

（令和6年4月2日　於：津保川台公民センター）

脳活で　脳の若返りとか　脳の活性化とか　良く耳にしますが本当なの？

脳活性化というのは　どのような状態か

脳の活性化を図ると、脳の血流が豊富になり、脳の神経が活発に働く事で酸素が消費するためそれを補うために脳の血流が増え、そして脳のネットワークをより使うことで更に広がり、そのネットワークの中から情報伝達の効率によりルートを取捨選択し、記憶力や集中力など本来脳が得意とする能力が発揮できる。

年をとっても脳活は有効

年齢に関係なく、いくつになっても脳は成長します。脳の衰えにつながることは、諦めて何もしないでいると。頭や体を使わないことです。まずは「やってみよう」と思うことです。

「やってみよう」

その1　運動やストッレチ。

有酸素運動は認知症予防に有効。

その2　好奇心を持って趣味の活動をする。

「知りたい」「やってみたい」は強いほど、脳の毎縮が少なく，脳の若返りをサポートします。

その３　会話すること。

相手の表情を読み取ったり、言葉以外の情報を伝達することで、相手を理解しようとする脳がフル回転します。

その４　食生活を工夫すること。

何をどう食べるか。特に認知症リスクを見据えた糖尿病や動脈硬化の予防により効果的に。

毎日出来ること

※　食べ方について

脳血流が活発になるためによく噛みましょう。またしっかり空腹を感じて「おいしい」と思うと「幸せホルモン」というドーパミンが分泌され、脳が活性化されます。

※　睡眠をとる。

脳は活動すると疲労がたまり、脳の活動が傷ついたりするのを寝ている間に修複します。１日６時間以上の睡眠を取りましょう。

※　指先の体操をしてみる。

指先をくるくる回す体操です。回していない指が触れないようにするのがポイントです。

・ボールを包み込むように、両手の指先をそれぞれ合わせる。

・親指から順番に時計回り２０回・反時計回り２０回を繰り返す。

元気で毎日楽しい人生を

市民活動助成金報告書

団 体 名	さくらウインドオーケストラ

事 業 名	さくらウインドオーケストラ第１２回定期演奏会

事 業 費	383,125 円
助成金交付額	50,000 円

活動の背景にある課題･活動の目的		2024年に岐阜県で開催された国民文化祭を盛り上げ、県内の文化振興に貢献したいと考え、今年度はこれまで以上に演奏活動に力を入れて取り組みました。本補助金でご支援いただいた定期演奏会に加え、市内の団体が一堂に会し、吹奏楽演奏や合唱、ダンスを楽しむイベント「あつまれ！せきのおと」を開催しました。また、市主催のアカデミック講座でのコンサート、病院やふれあいサロン、商業施設、地域の敬老会での演奏など、市民の皆さまに吹奏楽を楽しんでいただく機会を多く設けることができました。さらに、地域の中学生や高校生への演奏指導や合同コンサートへの出演なども行い、次世代の育成にも貢献できるよう努めています。今後も地域に愛される楽団になれるようにこうした活動を続けていきたいと考えていますが、楽団の資金不足は長年の課題です。今回は、定期演奏会の会場使用料として補助金を活用させていただきました。
事業概要	活動の対象者	全市民
	活動の場所	関市文化会館
	事業期間	令和6年5月19日
	具体的な活動内容	第12回目となる定期演奏を関市文化会館にて開催しました。今回の演奏会のテーマを「花」とし、「さくらのうた」や「世界に一つだけの花」など、幅広い世代が楽しめる多様なジャンルの曲を９曲演奏しました。 また、開演前と終演後のロビーにて、能登半島地震の被災地への募金活動を行いました。
事業の効果及び成果		団員47名が出演し、約360名の観客を動員しました。アンケートには「素晴らしい演奏だった」「楽しかった」という声をいただき、市の文化振興とまちのにぎわい創出に寄与することができたのではないかと思います。また、募金活動では52,892円のご支援をいただき、関市に義援金として寄付をしました。
今後の取組･改善事項		今後も、地域から愛される楽団になれるよう、定期演奏会をはじめ慰問演奏などのボランティアや、中高生の演奏指導などの次世代育成に努め、地域に貢献できる活動を続けていきたいと考えております。

団体情報	代表者名	原田　貴章	所在地	関市大平町２-8
	電話番号	9025783928	Ｅメール	tharada0501@gmail.com
	ＨＰ	https://www.facebook.com/sakurawo		

市民活動助成金報告書

団 体 名	特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOぶうめらん

事 業 名	関ジモト大学　2024

事 業 費	62,502　円
助成金交付額	50,000　円

活動の背景にある課題･活動の目的		岐阜県関市では、2005年をピークに人口が減少し、生産年齢人口も大幅に減少している。特に10代・20代の若年層の流出が顕著であり、2040年には人口が約39,676人にまで減少すると予測されている。また、関市の高校生の多くは地元企業を十分に認知しておらず、Uターンの理由には「故郷への愛着」や「希望する仕事の存在」が挙げられている。 この課題に対し、高校生が関市の企業・団体・個人の活動を知る機会を増やし、地域課題への探究心を育むことで、郷土愛の醸成や若年層の定着につなげることを目指す。社会課題解決の最前線にいる人々の想いに触れることで、地域探究活動やキャリア形成の糧とし、関市の未来を支える人材を育成する。
事業概要	活動の対象者	関市内の高校に在学の高校生
	活動の場所	せきてらす　多目的ホール　じゆうなひろま、各事業所
	事業期間	令和６年　７月１日　～　令和６年　８月３１日
	具体的な活動内容	**1.　地域・社会課題解決に挑む人たちのパネルディスカッション** 日時：8月8日（木）10:30-15:00 場所：せきてらす 多目的ホール じゆうなひろま 参加費：無料 持ち物：なし 登壇者による活動紹介 1部（午前） ・中村 文亮氏（関市地域おこし協力隊 若者支援コーディネーター） ・朝倉 勝美氏（せき防災の会 代表） ・酒井 理絵氏（せき・ミラクルクリエイターズ 副代表 / むつびと 代表） 2部（午後） ・片桐 妙子氏（NPO法人手をつなぐ女たちの会 理事） ・山村 雄太氏（NPO法人セブンシーズ 代表理事） ・船木 曜子氏・西野 華容氏（ほらプロ / 2023年度マイプロ全国大会出場） パネルディスカッション ・登壇者が地域課題・社会課題解決の現場で直面した困難や成功体験を共有。 ・高校生からの質問をもとに、登壇者が自身の経験や展望を語る。 交流会（昼食・おやつ） ・登壇者と高校生が昼食やおやつを共にしながら、直接意見交換を行う。 ・参加者同士のつながりを深める機会を提供。 参加者数：14名 **2.　高校生特別版 関の工場参観日** 夏休み期間中に高校生が関市内の企業を工場見学できる機会を提供。 参加企業様：５社 場所、日時：各事業所による 参加者数：合計9名 **3.　SDGsアーカイブ配信** 対面での参加が難しい方やより地元を知りたいという方向けに昨年度の関ジモト大学2023と今年の「地域・社会課題解決に挑む人たちのパネルディスカッション」をYouTubeにてアーカイブ配信をした。 動画の本数：10本 現在の総再生回数：3,227回
事業の効果及び成果		1と2に参加した人へのアンケートでは、「関市が好き」という項目が5段階評価で平均4.4を獲得した。事前に実施した同様の調査と比較して1.1ポイント上昇しており、今回の取り組みが郷土愛の醸成に寄与したと考えられる。郷土愛が深まることで、Uターンを希望する人が増えることが予想される。実際に、過去のジモト大学をきっかけに関市内での就職に繋がったという事例もある。
今後の取組･改善事項		今回の対面での参加者は少なかった。その要因として、内容が十分に関心を引くものではなかった可能性が考えられる。来年度は、高校生を企画の段階から関わってもらい、高校生自身が「行きたい」と思えるイベントを共に作り上げ、地域とのつながりをより強化する取り組みを進めていく。

団体情報	代表者名	浅野　欽一郎	所在地	岐阜県関市本町６丁目２４
	電話番号	0575-46-8035	Ｅメール	info@vousmelan.com
	ＨＰ	https://vousmelan.com/		

関ジモト大学2024
Seki JImoto University

関ジモト大学2024 今夏開講

関商工高・関高・関有知高の生徒を対象

関市の高校に通う高校生に卒業前に学んでほしい、仕事、会社、人のことを学ぶ講座です。
2017年にスタートし、毎年夏に開催しています。

この地域には全国的に負けない魅力を持った企業や、この地域や社会をより良くするために活動している人がたくさんいます。関ジモト大学を通じて、このまちや社会をもっと知りたい、もっと良くしたいと思ってもらえるとうれしいです

2024 ラインナップ

1. 地域・社会課題解決に挑む人たちのパネルディスカッション
2. 高校生特別版　関の工場参観日　詳しくはウラ面へ
3. SDGsアーカイブ配信　詳しくはウラ面へ

1 地域・社会課題解決に挑む人たちのパネルディスカッション

地域課題、社会課題解決のために最前線で取り組んでいる関市の団体や個人をパネリストに招き、その想いや活動を聞きます。今後につながる関係性を築けるよう、パネリストを囲んでの交流会も企画しています。

日　時／8月8日(木) 10:30−15:00
場　所／せきてらす 多目的ホール「じゆうなひろま」
参加費／無料
持ち物／特になし
※午前の部のみ、午後の部のみの参加OK

申込は専用フォームから
申込締切：7月31日(水)

関市で社会課題・地域課題に取り組む6人の登壇者

午前の部

- #LGBTQ+　中村 文亮さん　関市地域おこし協力隊 若者支援コーディネーター
- #地域防災　朝倉 勝美さん　せき防災の会　代表
- #地域活性化　酒井 理絵さん　せき・ミラクルクリエイターズ 副代表　むつびと　代表

午後の部

- #10代支援　山村 雄太さん　NPO法人セブンシーズ　代表理事
- #DV支援　片桐 妙子さん　NPO法人手をつなぐ女たちの会　理事
- #地域活性化　船木 曜子さん　西野 華容さん　関高校 ほらプロ　2023年度マイプロ全国大会出場

市民活動助成金報告書

団 体 名	道-TAO-

事 業 名	ゲームを通してコミュニケーションの練習をしよう

事 業 費	85,000　円
助成金交付額	50,000　円

活動の背景にある課題･活動の目的		発達グレー（診断名はつかないが「学校へ行きづらい」や「周りとの物事の考え方にズレがある」など様々な困難を抱えている状態）の子どもたち（小学生から高校生）が、ゲームを専門的に勉強し学べる場が関市内にはない。 障がいがある子・ない子、学校行っている子・そうではない子に関わらず、ゲームを通して交流することで、障がいや不登校に対する偏見を無くす。
事業概要	活動の対象者	小学生1年生から高校3年生までの子どもたち
	活動の場所	千手院　秋葉殿
	事業期間	R6年9月1日～R6年10月20日
	具体的な活動内容	小学生の部（10時から12時） 09時45分　受付・入場開始 10時00分　開会挨拶、本日の過ごし方アナウンス（5分） 10時05分　講師自己紹介（5分） 10時10分　対戦型パズルゲームゆめいろユラム体験（90分） 11時40分　参加者同士で感想を話し合う時間 ゲームクリエイターへの質疑応答など（20分）12時00分　閉会 中高生の部（13時から 15時） 12時45分　受付・入場開始13時00分　開会挨拶、本日の過ごし方アナウンス（5分） 13時05分　講師自己紹介13時10分　ゆめいろユラム体験（80分）　講師講話および質疑応答（30分） ・ゲームクリエイターになるためには？・ゲームはどうやってつくられているの？ ・ゲームを仕事にするということ
事業の効果及び成果		ゲームを通すことで、障がいのあるなしに関わらず参加者同士（子どもも親も）が気軽にコミュニケーションを取ることができる。ゲームの仕事に興味のある子どもが現役のゲームクリエイターと話すことで「自分もやってみたい、自分にも出来るんだ」という興味や自をつけることができる。当日の参加人数　午前の部25人、午後の部15人
今後の取組･改善事項		将来、ゲームの仕事をする準備ができる子を増やしたい。学校に行っている、行っていないに関わらず、多様な子どもたちが交流できる場をつくりたい。偏見をなくしたい。来年度から様々なクリエイティブな講師の方々とイベントなどを通して学べる場所を再オープンする（自宅）

団体情報	代表者名	伊佐地 律子	所在地	関市東山35番地２
	電話番号	090-3833-2371	Ｅメール	manayume12020205@gmail.com
	ＨＰ	https://www.instagram.com/tao.0316/		

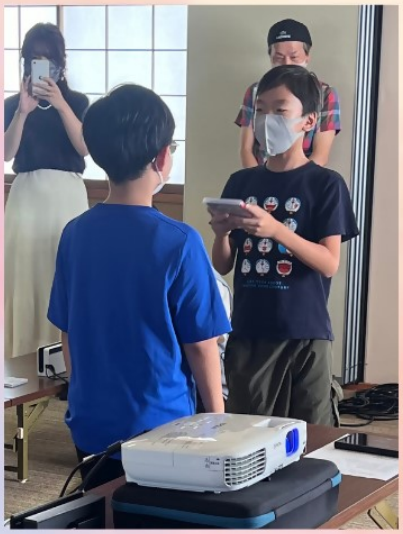
ゆめいろコラム

決勝戦は大画面で！！

ホーゲットさんの解説付き！

日本一さんの
貴重なお話！！

優勝した子に
ソフトをプレゼント



日時：10月5日（土）10時から15時
場所：千手院　秋葉殿
参加者：午前25人　午後15人
主催：TAO（株）ホーゲット
協賛：株式会社モリモリ
　　日本一ソフトウェア

市民活動助成金報告書

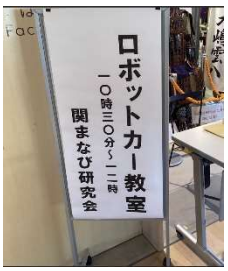
団 体 名	関まなび研究会

事 業 名	ロボットカー教室

事 業 費	60,200 円 見込み
助成金交付額	50,000 円 見込み

活動の背景にある課題･活動の目的		今後の学習や将来の仕事で、それを細分化して段取りを考えて取り組み、改善を繰り返して、よりよい成果をあげるというプログラミング的思考が大切である。 今の子供たちにとって、それを育みさらに伸ばしていくことが必要である。その為に、「ロボットカー教室」を開き、学校では不足しがちなプログラミングで試行錯誤し課題を解決する時間を確保し、「自分で考え動かす」経験を充分にさせたい。 「ロボットカー教室」では、短時間で基本的な内容を押さえ、目標に向けて自分で考えたり相談したりして、プログラミングしたロボットカーを走らせたい。この体験を通して、何度もプログラムを修正しながら目標を達成する楽しさを味わい、それによってプログラミングへの興味関心を高めるとともにプログラミング的思考を伸ばしていきたい。
事業概要	活動の対象者	関市内の小中学生
	活動の場所	せきてらす「刃物工房」・学習情報館「ギャラリー」・まなびセンター「文献資料室」
	事業期間	令和 6 年 11 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
	具体的な活動内容	第１回「ロボットカー教室」 令和６年１１月３０日（土）10：30～12：00 参加者１４人 欠席１人 せきてらす「刃物工房」 ・低学年･･･厚紙のコースで長さを予想して、クルマを走らせゴールを目指す ・高学年･･･大判のコースで長さや角度を測り、クルマを走らせてゴールを目指す 第２回「ロボットカー教室」 令和７年 １月１１日（土）10：30～12：00 参加者１７人 欠席３人 せきてらす「刃物工房」 ・１･２年･･･マス目の数、向きを調べてクルマを走らせゴールを目指す ・３年と４･５年初参加･･･長さや角度を測り、クルマを走らせゴールを目指す ・４･５年･･･黒枠から出ずに走るクルマを黒線に沿って走るクルマに変える 第３回「ロボットカー教室」 令和７年 ２月１５日（土）10：30～12：00 参加者２０人（見込み） 学習情報館「ギャラリー」 ・１･２年･･･クルマを走らせて線を引き、動物たちが逃げ出さないように囲む ・３・４年初参加・中１･･･長さや角度を測り、クルマを走らせてゴールを目指す ・３･４･５年･･･線や図形をクルマを走らせて描き、いろいろな模様を創る
事業の効果及び成果		○１･２回目の参加者(12人+17人)の声は、 とても楽しい：２８人 あまり楽しくない：１人 何度も直して：２１人 直して走らせた：８人 直して走らせなかった：０人 次回、とても参加したい：２０人 参加したい：８人 参加したくない：１人 ・楽しかった。 ・もう１回やってほしい。 ・優しく教えてくれるので楽しかった。 ・ロボットカーを走らせるのは難しかったけど、ゴールした時は嬉しかった。 ・次回も参加したい。何度も間違えて調整して挑戦してクリア出来て嬉しかった。 ○２・３回目は、定員２０人の応募があり、研究会のメンバーやボランティアのアクティブＧメンさんと関わったり、保護者と一緒に考えたりしながら、最後まで何度も修正して楽しく行うことができた。何度も修正して挑戦できたことで、プログラミング的思考が育まれたと考えている。 ○学校以外の場でもロボットカーを走らせる体験ができ、それを通してプログラミング的思考を育み伸ばす土壌を作ることができた。
今後の取組･改善事項		ねらい通りに、何度も何度も工夫してゴールしていた。あきらめずに挑戦し続けられ、適度な難しさであった。引き続き内容を工夫し魅力を増して、全員が楽しいと思える会にしたい。また、さらに広報に努め、より多くの小中学生の参加と、より多くの小中学校からの参加を目指したい。 そして、プログラミング的思考を育み伸ばせるように、年間６～８回を目指して、今後も楽しい「ロボットカー教室」を開催していきたい。

団体情報	代表者名	後藤 和男	所在地	関市大平町１丁目２番地
	電話番号	090-9177-1000（遠藤和弘）	Ｅメール	kz.endou@sb4.so-net.ne.jp（遠藤）
	ＨＰ	なし お問い合わせフォーム（https://forms.gle/uCnFHikDMDf2TbPW8）		



最初に
少しだけ
説明

参加者は
２０名に！

中日新聞　中濃版

2024.12.1

プログラミング学び
ロボットカーを操作
関で児童対象 教室

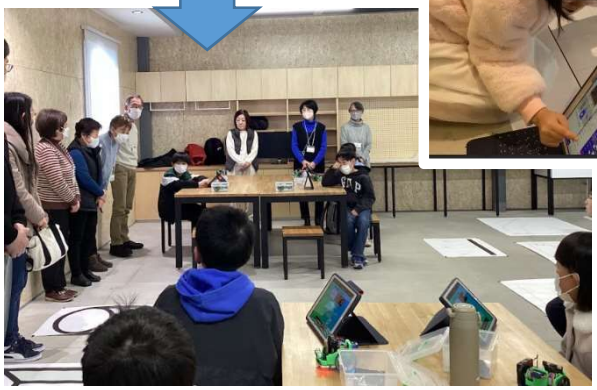
関市内の教員有志でつくる「関まなび研究会」は30日、子ども向けのプログラミング教室を関市平和通のせきてらすで開いた。市内の小学1～5年生14人が参加。学校の情報通信技術（ICT）支援員を務める遠藤和弘さん（63）が、プログラミングの学習教材「マイクロビット」を使ってロボットカーを操作する方法を教えた。子どもたちはタブレット上で「メロディーを流す」「前へ40ミリ進む」などの指示が書かれたブロックを並べ、指示通りにロボットカーが動くかを実験＝写真。ZやNの形をした複雑なコースを走らせるのに苦戦しながらも、ボランティアの助けを借りて生き生きと取り組んだ。

遠藤さんは「課題に対して試行錯誤を繰り返すことで、プログラミング的思考を伸ばしていけたらうれしい」と話した。

1月11日、2月15日にも同様の教室を開く。午前10時半～正午。1月11日の予約は12月1日午前8時から、専用フォーム＝QRコード＝で申し込みを受け付ける。参加費は1回200円。定員は各回20人。（柳田瑞季）

熱中！

ボランティアで
アクティブGメンさんも参加



一人で、
一緒に、
考えて！

市民活動助成金報告書

団 体 名	在日ベトナム学生青年協会岐阜支部(VYSA岐阜)

事 業 名	2025年旧正月「Gifu cũngcó Tết」（ぎふにもテトがある）

事 業 費	437,800 円（予定）
助成金交付額	50,000 円

活動の背景にある課題･活動の目的		岐阜県には約1 万人、関市には800 人のベトナム国籍の方が在住している。しかし、日本人とベトナム人との共生が進んでおらず、下記の課題が認識されている。 ①ベトナム人：日本の文化や言語を学ぶ機会の不足 日本人とベトナム人との交流する機会がなく、日本の文化や日本語を学ぶ場が少ない。そのため、せっかく日本にいるのに、日本での生活を楽しむことができない。また、日本語が話せないため、自分の要望や気持ちや意見を伝えることができないといった困難を抱えている。 ②日本人：ベトナムの文化を知る機会が少ない ベトナム人とともに働いているのに、ベトナム文化を理解している人が少ない。それは、ベトナムの文化を紹介する機会が少ないのも１つの原因と考える。そのため、ベトナム文化をイベント等でもっと広めたい。
事業概要	活動の対象者	岐阜県に住んでいるベトナム人、及びベトナム、または多国籍文化に興味を持つ県民
	活動の場所	関市内（西部ふれあいセンター）
	事業期間	2025 年1 月1 日～ 2025 年2 月9 日
	具体的な活動内容	2025年2月9日、西部ふれあいセンターにて「Gifu cũng có Tết」（岐阜にもテトがある）を開催しました。駐日ベトナム大使館をはじめとする様々な団体や企業のご支援をいただき、ベトナム文化と日本文化の交流を目的としたイベントでした。ステージパフォーマンスでは、ベトナム文化を代表する伝統的な踊りやアオザイショーのほか、関孫六太鼓保存会様、下組獅子舞保存会様による演奏も行われ、参加者から大変好評をいただきました。また、ベトナムの旧正月にちなんだ料理も提供され、フォトブースで旧正月の飾りを紹介、参加者は少しではありますが、ベトナム旧正月の雰囲気を楽しむことができました。イベントの最後には、ゲームや抽選会が行われ、国籍や年齢を問わず、参加者同士のコミュニケーションの場を提供しました。イベントの準備、計画、練習などは、ベトナム人を中心に進められましたが、ネパールや日本国籍の方々にもご協力いただき、まさに多文化共生の輪を広げるイベントとなりたい。
事業の効果及び成果		・参加人数：236 名（うち、日本50 名、ネパール5名、中国3名、ラオス2名、ベトナム176 名） ・ベトナムコミュニティーをつなぐ：関市をはじめ、岐阜市、各務原市、大垣市、美濃市、下呂市等岐阜県内 岐阜県内様々な地域から関市に集まっていただきました。 ・イベントに参加した日本人・外国籍の方々にも、ベトナムの料理や文化を知ってもらった。 ・イベントに参加したベトナム人が和太鼓・獅子舞の演奏に大好評で、日本の文化に興味を持ってもらった 。 ・駐日ベトナム大使館をはじめ、関市の山下市長、北村議員、岐阜県国際交流センター、関市国際交流協会からのご来賓の皆様に参加いただき、関市をはじめ岐阜とベトナムの関係、また日越友好関係を一歩深めることができ日越友好関係を一歩深めることができた。 ・日本語能力検定試験を合格したベトナム人に表彰を行い、ベトナム人の若者に日本語学習を奨励し、日本語学習に対するモチベーションを炊けることがでたた。
今後の取組･改善事項		年に年に一度、旧正月イベントを開催交流場設ける。今後、色々な国籍の方が一緒に楽しめるスポーツ大会イベン ト（サッカー、バトミントン、料理教室など）も計画し、関市の多文化共生に貢献する。

団体情報	代表者名	DOAN Van Anh	所在地	
	電話番号	080-3967-5753	Ｅメール	
	ＨＰ	https://www.facebook.com/vysagifu		

GIFU
Cũng có
Tết

GIFU
Cũng có
Tết

GIFU
Cũng có